

## 2-3 地形図作成(1/50,000)

地図記号は関連諸国が作成した仕様に準拠することとした。ニカラグアでは、地図表現の項目は項目は、米国の Defense Mapping Agency が作成したマニュアル PS / 3AA / 101 「外国領土における、縮尺 1/50,000 地形図仕様書」に準拠している。等高線間隔は 20m であり、平坦地では 10 メートルごとの間曲線が使用されている。

地図投影法と楕円体については、世界的な測地システム WGS84 とユニバーサル横メルカトル投影 (UTM) が新しいシステムとして採用された。

印刷色は、シアン、マゼンタ、黄色、黒の (CMYK) と等高線のセピアの 5 色に構成した。



図 2-3 地形図のサンプル

## 2-4 防災関連施設情報地図

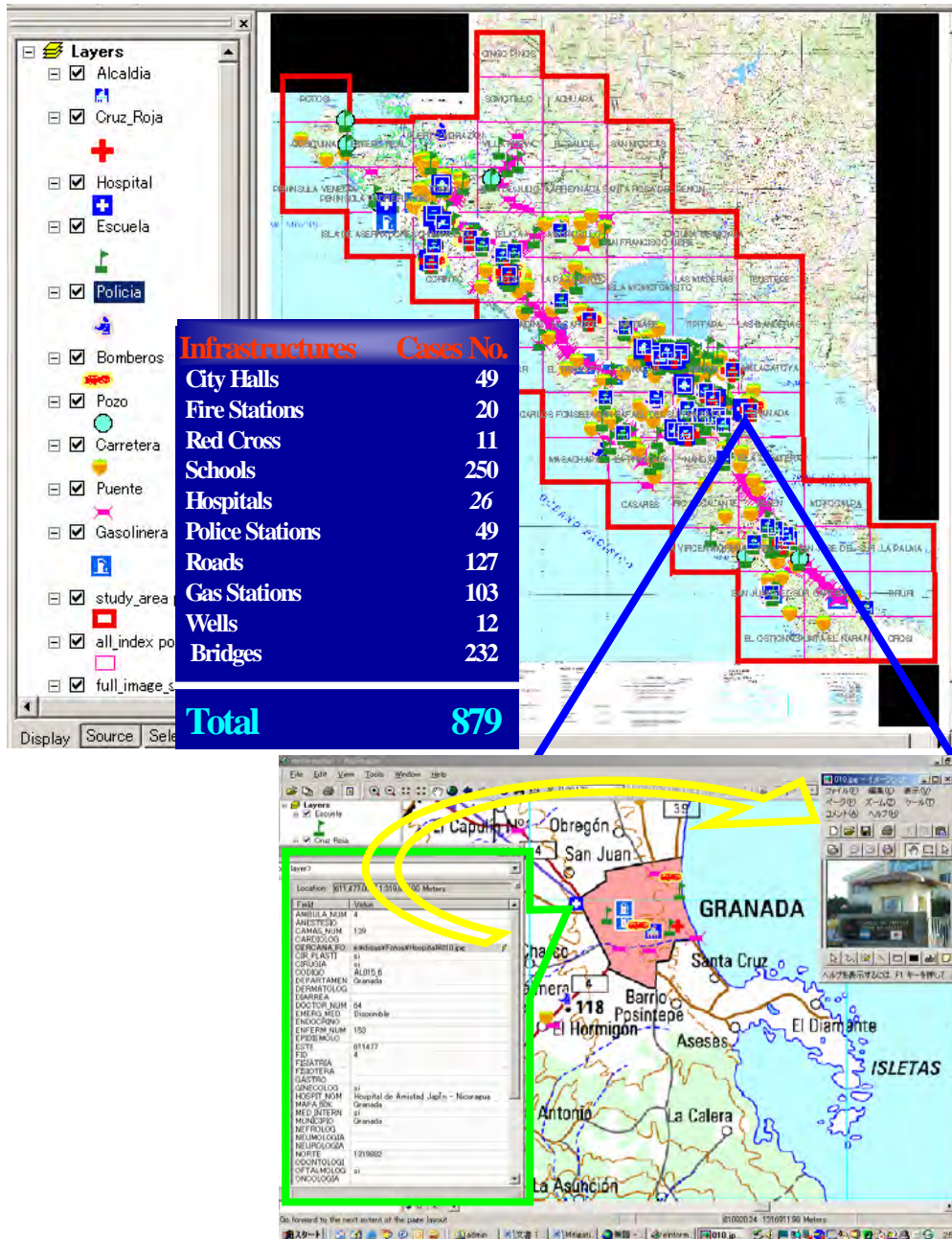


図 2-4 防災関連施設情報地図

防災関連基礎インフラに関する情報をデータベースファイルとして整理し、次に ArcGIS にインポートした。全ての防災関連インフラを記号化し、クリック時に地物情報が画像と共に表示される、読みやすく魅力的なディスプレイシステムを設計した。

国土調査院提供による最近作成された縮尺 1/250,000 の地形ラスタースタイル地図をディスプレイシステムの背景として使用した。国土調査院でファイルの利用が可能になるように、情報ファイルは ArcGIS フォーマットとした。同時に、ArcGIS を持たない人のために、ArcGIS の ArcReader 製品を使用し成果品を閲覧できる PMF（ポータブル地図フォーマット）を作成した。この製品は ESRI（USA）のウェブサイトから自由にダウンロード可能である。

## 2-5 地震ハザードマップ

次の3種類のカテゴリー、5つのシナリオ地震をシミュレートした地表面最大加速度 (PGA) を描いたものを作成した。

- 1) 活断層による地震
  - アエロプエルト断層
  - コフラディア断層
- 2) 火山性の地震
  - アポヨケ火山
  - マサヤ火山
- 3) 確率的地震
  - 再来周期 100 年の地震

これらの地震のパラメータ、減衰式なども記載した。また PGA の概念の理解を助けるために、地震震度(MMI)の一般的記述と PGA を対比させて記載した。地震ハザードマップの一例を図 2-5 に示す。



図 2-5 アエロプエルト断層による地震ハザードマップ